阪神・淡路大震災から 29 年を迎えた今年の元日、石川県能登半島で最大震度 7 の大地震が発生しました。地震により亡くなられた方々に、心より哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。神戸市として阪神・淡路大震災の経験やノウハウを活かし、全力で支援活動を展開してまいります。

阪神・淡路大震災からは、29 年が経ちました。
改めて震災により亡くなられた方々に、心より哀悼の意を表します。

歳月が流れ、震災を経験していない市民が増えていく中、震災から得られた経験や教訓を風化させることなく、次の世代に継承していくことが求められています。神戸市は市民のみなさまの参画を得て、被災地への支援を行いながら震災の記憶を伝えていきます。

震災の時、私たちは国内外から多くのご支援をいただき、市民の力で復興を果たすことができました。その感謝の気持ちを忘れることなく、防災・減災、健康・安全などの分野で、他の都市や地域に貢献する都市であり続けます。そして、進化し続けるテクノロジーも有効に活用し、災害に強い強靱な都市づくりを進めてまいります。

最後になりましたが、今日のつどいに参加いただきましたみなさまに感謝申し上げます。追悼のことばといたします。

令和 6 年（2024 年）1 月 17 日
神戸市長 久元 喜造